



2021年12月14日

各位

会社名 信和株式会社
代表者名 代表取締役社長 則武栗夫
(コード番号: 3447 東証・名証 市場第1部)
問合せ先 執行役員管理本部長 平澤光良
(TEL. 0584-66-4436)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2021年12月14日開催の取締役会において、2026年3月期を最終年度とする中期経営計画を決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 計画期間

2022年3月期から2026年3月期までの期間

2. 数値目標：2026年3月期の中期経営計画最終年度の目標

	2021年3月期実績	2026年3月期目標
売上収益（百万円）	13,885	25,000
営業利益（百万円）	1,853	3,500
EBITDA（百万円）	2,467	4,300
EPS（円）	87.4	171.3
ROE	8.8%	12.0%
配当性向	40.0%以上	
自己株買い	—	資本の状況に応じて検討

3. 具体的な施策

添付資料をご覧ください。

以上



信和株式会社
2022年3月期~2026年3月期
中期経営計画説明資料

SHINWA CO.,LTD.

Contents

Chapter

01 | 当社の概要

Chapter

02 | 中期経営計画の概要

Chapter

03 | 事業戦略について

Chapter

04 | 資本政策について

Chapter

05 | ESGの取り組みについて



| Chapter 01 |

当社の概要

SHINWA CO.,LTD.

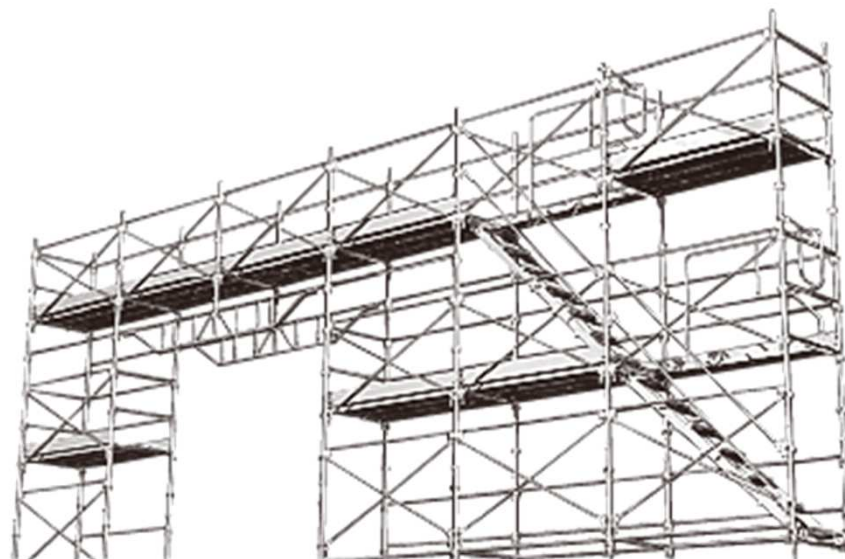
PURPOSE 命を守り、未来を支える

OUR MISSION

私たちは、製品・サービスを通じて大切な「命」を守ります
私たちは社員のやる気を応援し、「夢と未来」の実現を支えます

OUR VISION

私たちは、お客様から信頼される企業を目指します
私たちは、お客様とともに成長を続けます



当社の沿革



- 1977 信和商店として事業を開始
- 1978 仮設資材「ジャッキベース」の製造を開始
- 1988 システム足場市場に進出
- 2003 物流機器部門を設立
- 2016 次世代足場SPSの製造・販売を開始
- 2017 海外製造・販売を開始
- 2018 東証2部・名証2部に株式を上場
- 2019 東証1部・名証1部へ指定替え
中国に広東日信創富建築新材有限公司を設立

足場の系譜

くさび緊結式足場に繋がる足場の系譜

木製（丸太）足場

- 古代から昭和初期まで使用されていた木材や竹材を素材とした足場
- 現在では神社仏閣の修繕の際のように限定的に使用される

単管足場

- 鉄製パイプを素材とした足場で、木製（丸太）足場と比較して強度が高い
- パイプと組み立てに必要な器具がバラバラになっており、組み立てには高度な技術が必要

くさび緊結式足場

当社製品：シンワキャッチャー

- 単管足場と同様、複数のパイプを組み立てる必要があるが、予め組み立て用の器具がパイプに溶接してある
- 枠組足場と比較して組み立てが容易で省人化が可能
- 組み立て式であるため、輸送コストが抑えられ、保管スペースも最小限に留めることができる

次世代足場に繋がる足場の系譜

枠組足場

- 戦後アメリカからの輸入された足場
- 部品同士が溶接されており、単管足場・くさび緊結式足場と比較して強度が高い
- 足場が溶接されているため分解が出来ず、輸送や保管にコストがかかる

次世代足場

当社製品：SPS

- 製品の概要はくさび緊結式足場と類似
- くさび緊結式足場と比較して組み立て時の静音性に優れている
- くさび緊結式足場の機動性に加え、部品の抜け止め機能を高めており、枠組足場の強みである強度を持ち合わせている

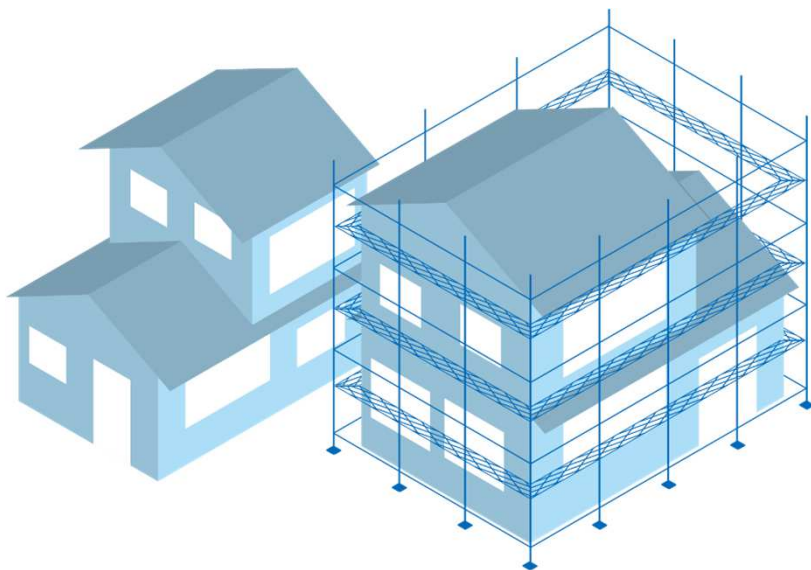
くさび緊結式足場 + 次世代足場の総称 = システム足場（※）

建築物に用いられる主な足場の種類①



低層

戸建て住宅等

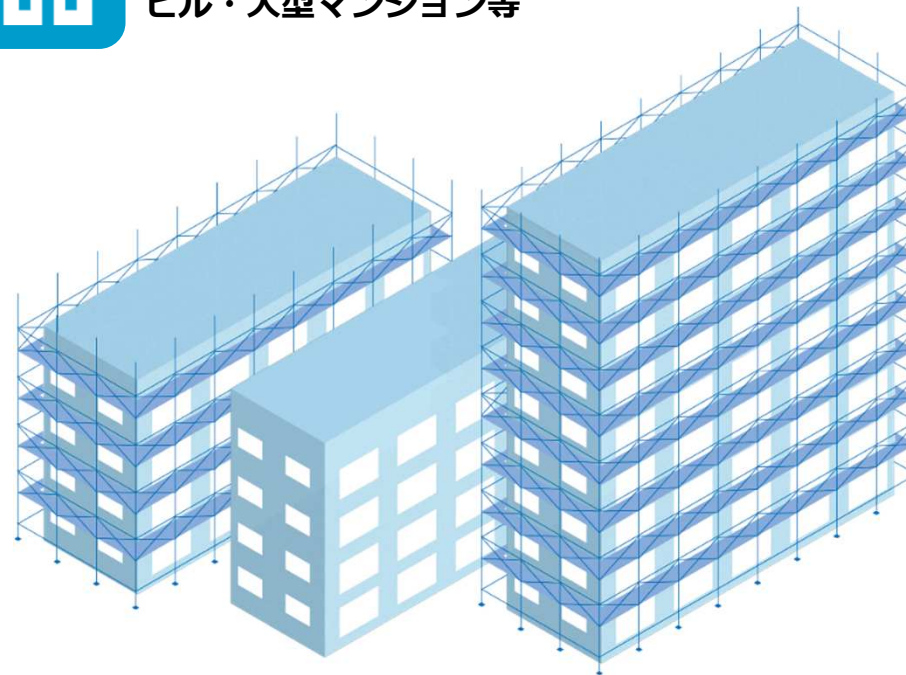


くさび緊結式足場・枠組足場



中高層

ビル・大型マンション等



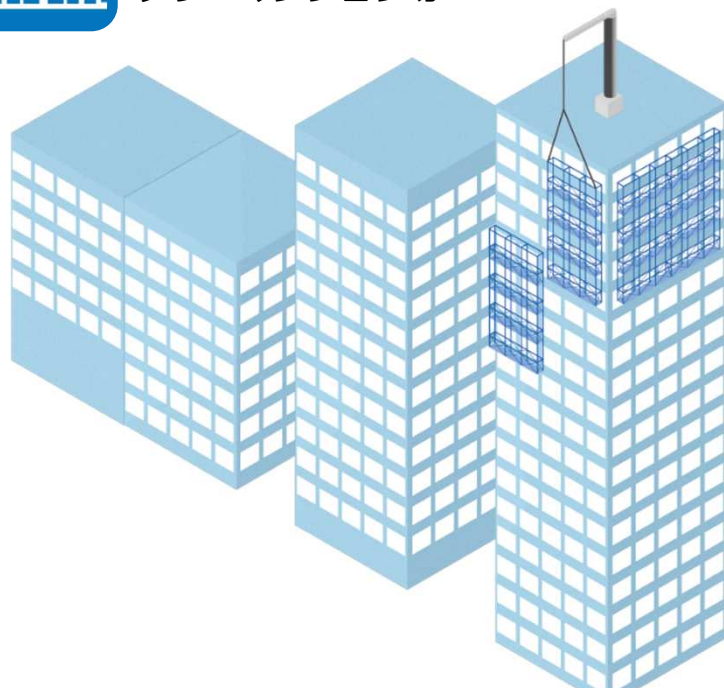
くさび緊結式足場・枠組足場・次世代足場

建築物に用いられる主な足場の種類②



超高層

タワーマンション等

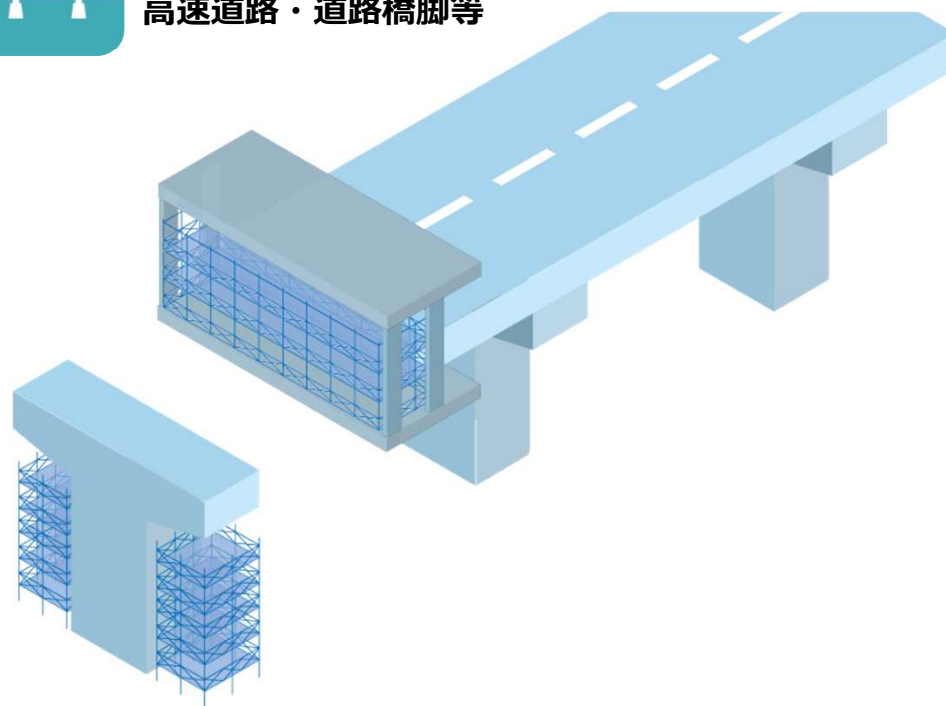


次世代足場・連層足場



土木・橋梁

高速道路・道路橋脚等



次世代足場・枠組足場・吊り足場

当社の独自ポジショニング

低層から超高層まで

幅広いマーケットへ製品を供給できる唯一の企業



低層

戸建住宅

中層

マンション

高層

大型マンション・ビル

超高層

タワーマンション

くさび緊結式足場

次世代足場

連層足場

当社の強み①

高い営業利益率

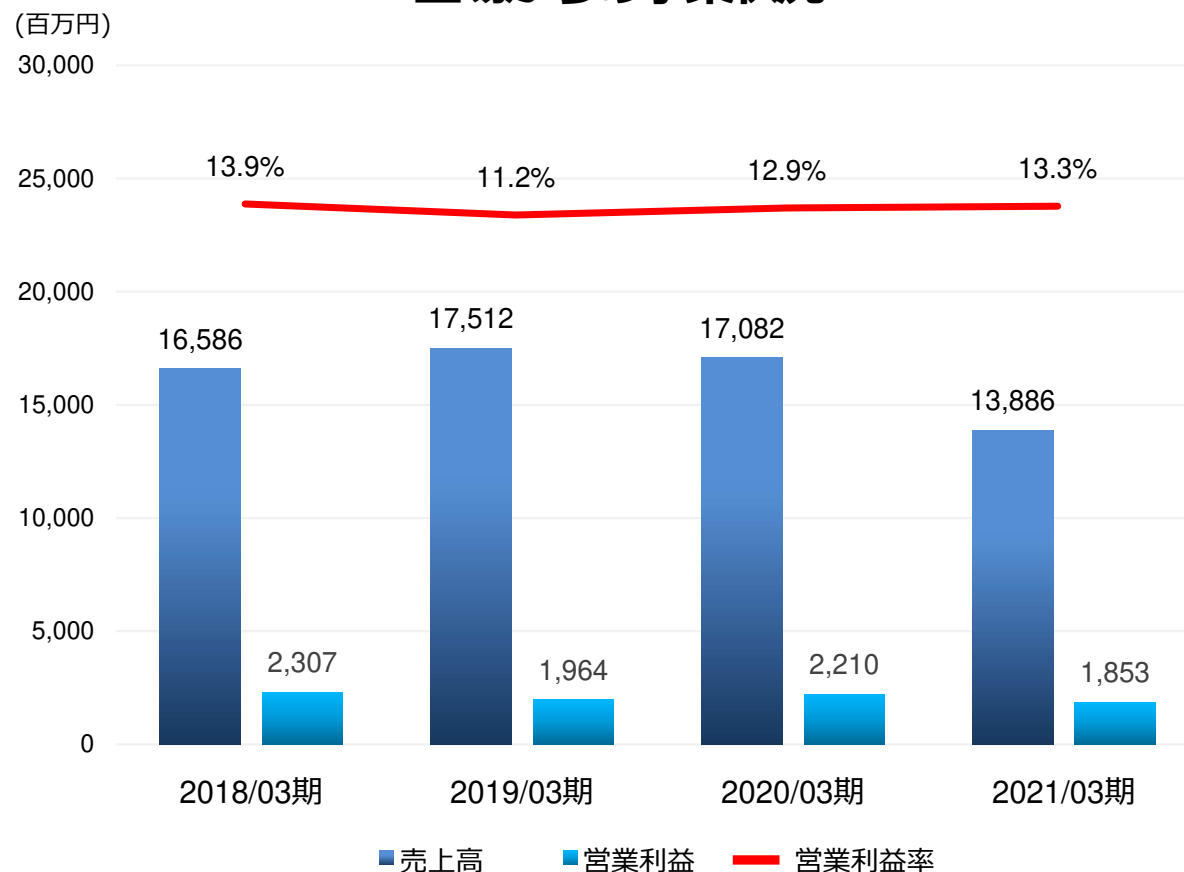
- ① 高品質な製品を適正価格で供給できる生産体制
- ② 優良顧客との安定的な取引関係による高い市場シェア

により実現

コロナウイルスの影響で2021年3月期は減収減益となったものの、高利益率は確保

SHINWA CO.,LTD.

上場からの事業状況



当社の強み②

1 国内屈指の生産能力による 多品種スピード生産

100台を超える溶接ロボットの導入による製造工程の半自動化や省人化によって安定した品質と生産能力を保有。また、お客様のニーズに応えられる多品種の生産にも対応

3 変化する顧客ニーズを 的確に捉える開発力

お客様と対面で進めるオーダーメイド品の製造等、多品種スピード生産能力が支える「ニーズに応えられる力」を保有

2 徹底した品質管理に基づく 品質への確かな自信

一般社団法人仮設工業会の基準よりも更に厳しい自社基準を設け、それをクリアした製品のみを供給。定期的な破壊試験や製造設備の開発により高品質なモノづくりを実践

4 ハードとソフトの両面に おける付加価値を実現

ハード面のみならず、施工に関わる法令や強度計算等のユーザーサポート、仮設工業会の承認・認定取得等、ソフト面の整備にも注力

| Chapter 02 |

中期経営計画の概要

SHINWA CO.,LTD.

中期経営計画におけるKPI

1 売上収益目標

中期経営計画
最終年度
250億円への成長

2 ROE目標

中期経営計画
最終年度**12.0%**

3 配当性向目標

40%以上

KPI	2021年3月期実績	2024年3月期目標	2026年3月期目標
売上収益（百万円）	13,885	18,500	25,000
営業利益（百万円）	1,853	2,270	3,500
EBITDA（百万円）	2,467	2,900	4,300
EPS（円）	87.4	117.0	171.3
ROE	8.8%	10.0%	12.0%
配当性向		40.0%以上	
自己株買い	-	資本の状況に応じて検討（※）	

中期経営計画における各部門取り組み施策

中期経営計画期間中の各部門計画

仮設資材部門

- 枠組足場から次世代足場への切り替えの促進
- レンタル事業の強化

物流機器部門

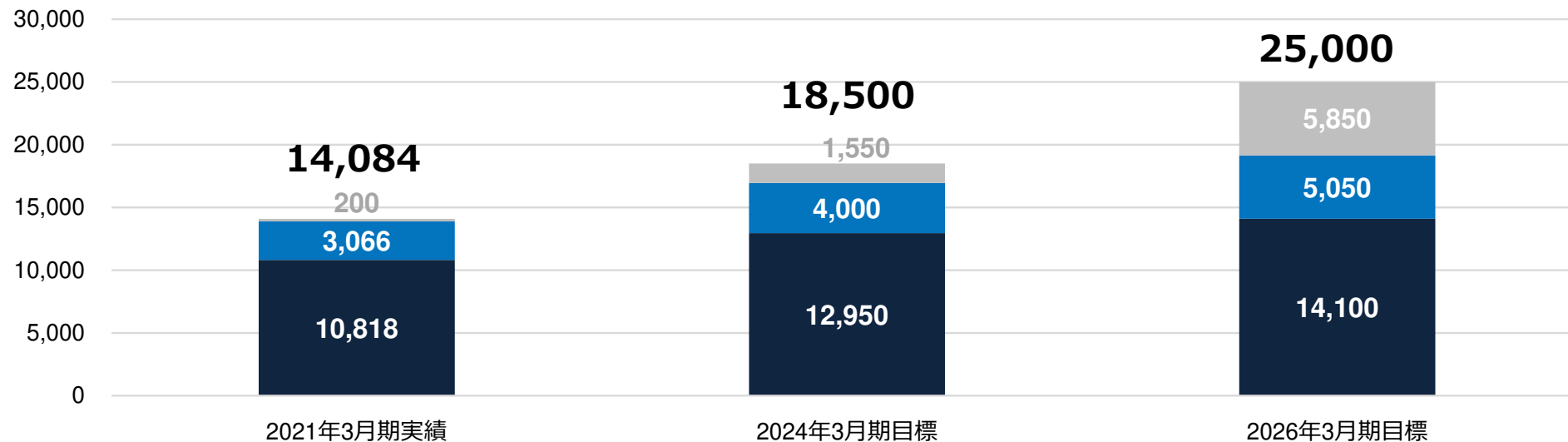
- レンタル事業の拡大による売上収益増加を図る
- アライアンス先との共創関係の強化を図る

躍進分野

- 国内の新たなマーケットへの進出及び海外市場での事業強化を図る
- 既存事業とのシナジーが期待できる企業のM&Aを検討

中期経営計画期間中の売上計画

(百万円)



| Chapter 03 |

事業戦略について

SHINWA CO.,LTD.

仮設資材部門①-概要

2026年3月期売上収益目標

14,100百万円

仮設資材

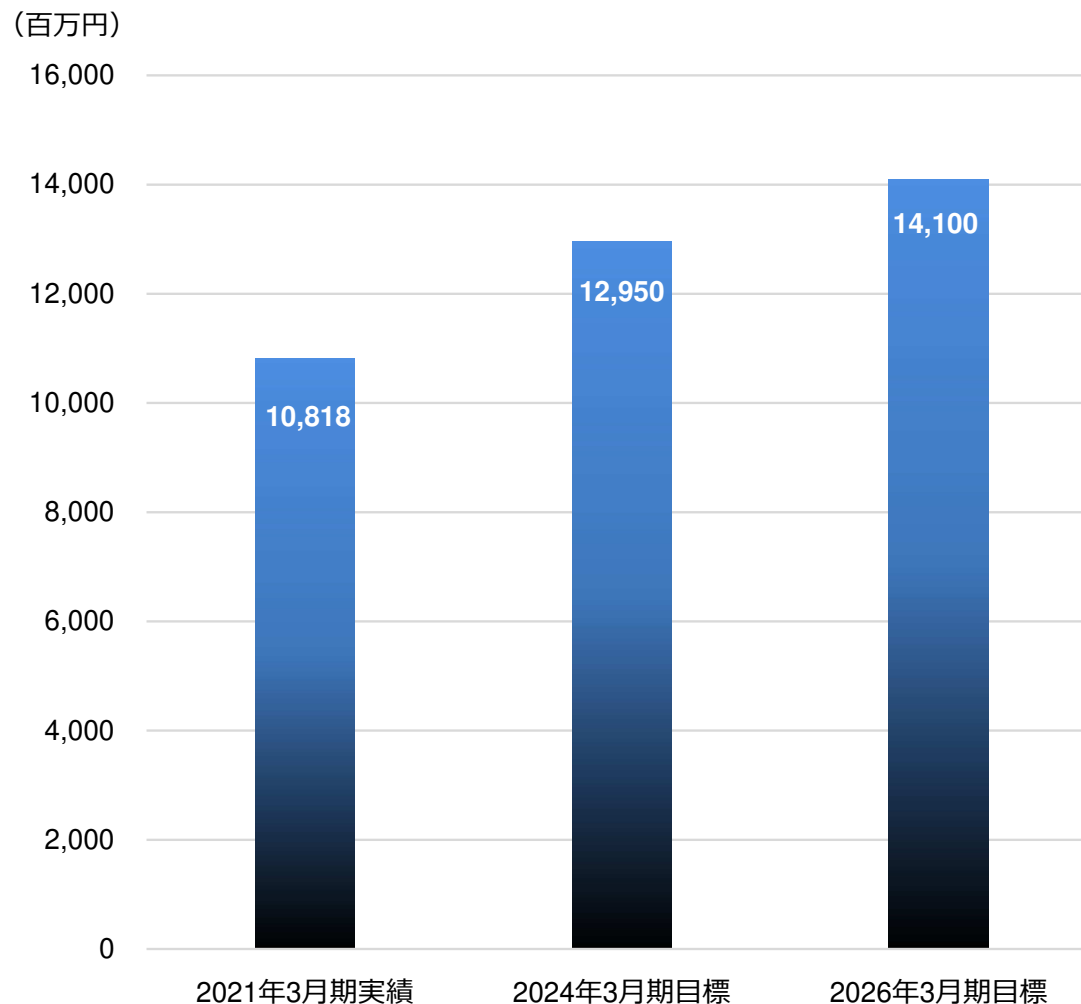
概要

建設現場等で使用される仮設資材（≒足場）の製造・販売・レンタル

施策

- 枠組足場から次世代足場への切り替えを促進
- レンタル事業の強化

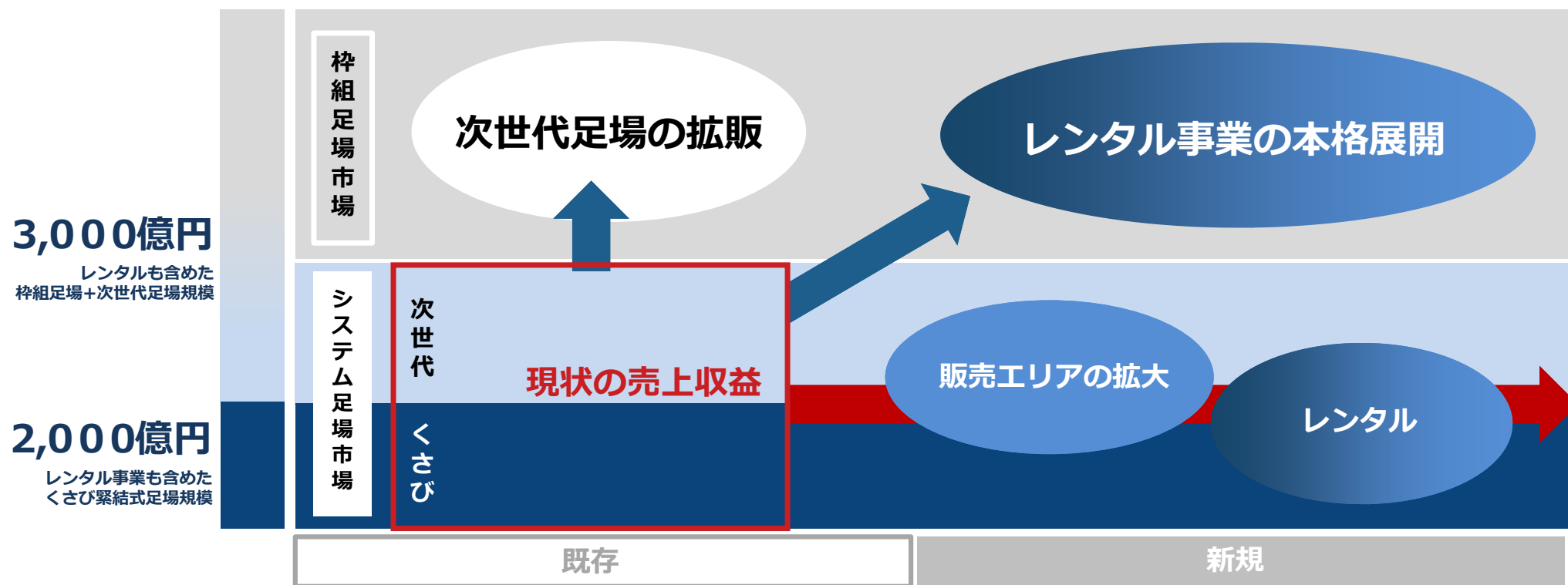
SHINWA CO.,LTD.



仮設資材部門②-足場における戦略の全体像

枠組足場市場の顧客をシステム足場市場に取り込む

次世代足場とレンタル事業で枠組足場市場を取り込む
販売エリアの拡大により国内でのシェアアップとともに海外にも展開

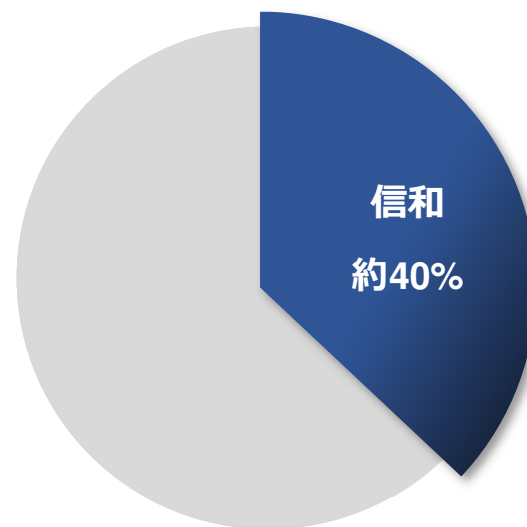


足場市場における当社のシェア

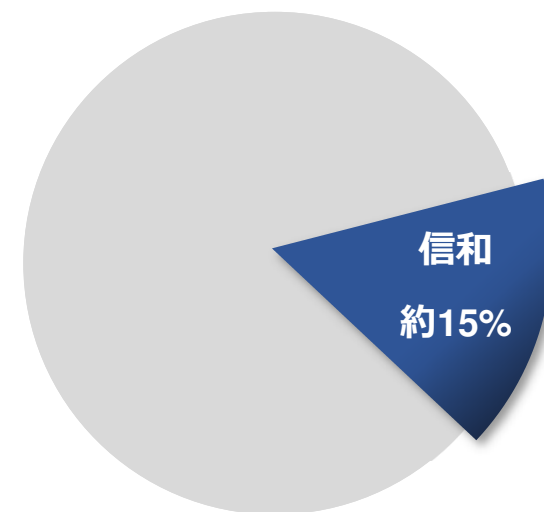
くさび緊結式足場市場

販売シェアNo.1

- 次世代足場は、今後も継続して市場シェア拡大の余地が大きい
- くさび緊結式足場も市場シェア拡大の余地あり



くさび緊結式足場市場
約200億円



次世代足場市場
約150億円

※出荷金額ベース、自社調査

仮設資材部門④-枠組足場から次世代足場への切り替えの促進

「命を守る足場」としての機能を充実し、
更なるシェア獲得を目指す



次世代足場への切り替えの背景

- 労働安全衛生規則への対応が容易であるため、現在枠組足場が使用されている現場では、次世代足場への切り替えが進んでいる
- 枠組足場と比較して梱包性が高く、保管面積は40%程度の省スペース化、輸送コストも削減することが可能
- 熟練度を問わず、簡単な作業で組み立てが可能

枠組足場の問題点

- 平成21・27年に改訂された労働安全衛生規則によって強化された「足場からの墜落・転落災害防止強化」への対応が急がれているが枠組足場では対応が困難
- 枠組足場の建材部品は梱包性が低いため保管面積が大きく、輸送コストも高い
- 組み立てに際して現場の熟練の技術を有する作業員による作業が必須

仮設資材部門⑤-レンタル事業の強化

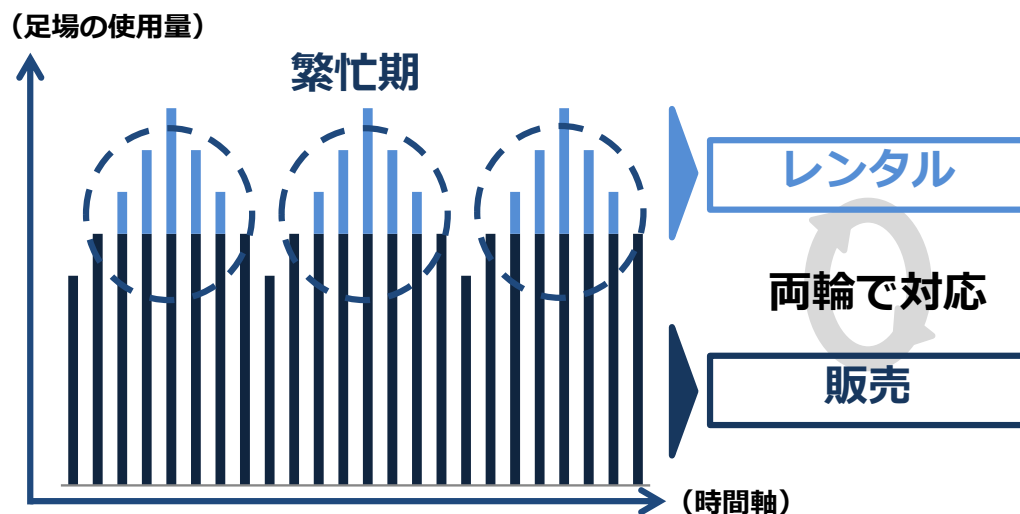
レンタルニーズが高まる背景

顧客の在庫負担増加

- 法改正に伴う必要資材数の増加
- 足場使用量の季節的変動幅が大きい

足場の調達手段の多様化

- 新製品購入前のトライアルニーズ
- 購入価格の上昇に伴うニーズの顕在化



SHINWA CO.,LTD.

当社がレンタル事業を強化する意義

1 高いコスト競争力

レンタル資材は自社製造

2 高い収益性

レンタル資材の償却期間は短期
製品寿命は約10~15年と極めて長い

3 販売事業のサポート

レンタルと販売を組み合わせ、
顧客ニーズに柔軟に対応

今後5年間で30億円以上の投資を計画

物流機器部門①-概要

2026年3月期売上収益目標

5,050百万円

物流機器

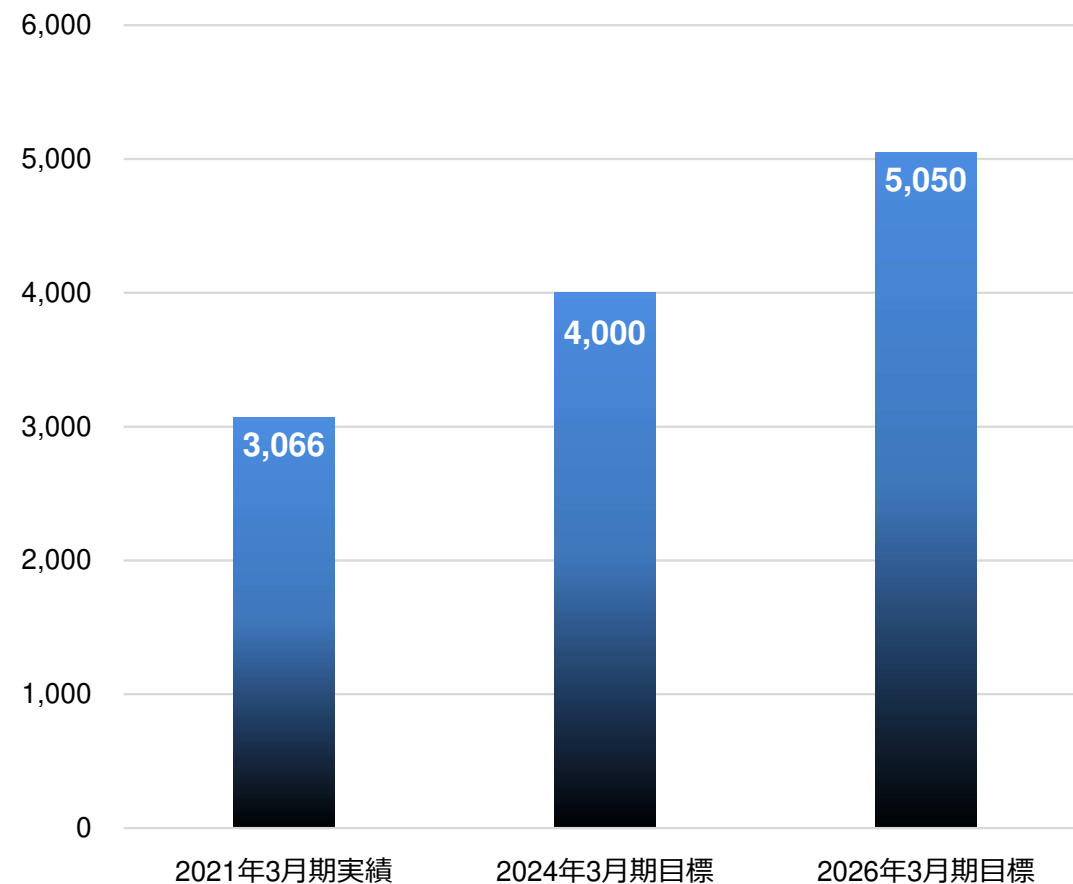
概要

物流機器とは、様々な形状を持つあらゆる産業の「運搬・収納」ニーズに応える、オーダーメイド製品群

施策

- 現在有している物流7拠点の更なる拡充による汎用パレット等のレンタル事業の拡大、レンタル投下予定額6億円
- 中期経営計画期間中にはアライアンス先との共創関係を推進

(百万円)



物流機器部門②-物流機器の製品群

当社の独自技術を駆使したオーダーメイド製品群



自動車部品専用 搬送パレット



液体搬送用バルクコンテナ



Eコマース企業向け倉庫用ラック

その他の汎用製品群



ネスティングラック



メッシュパレット



バンニングスロープ

物流機器部門③-物流機器部門における成長戦略

物流機器部門におけるレンタル事業の強化

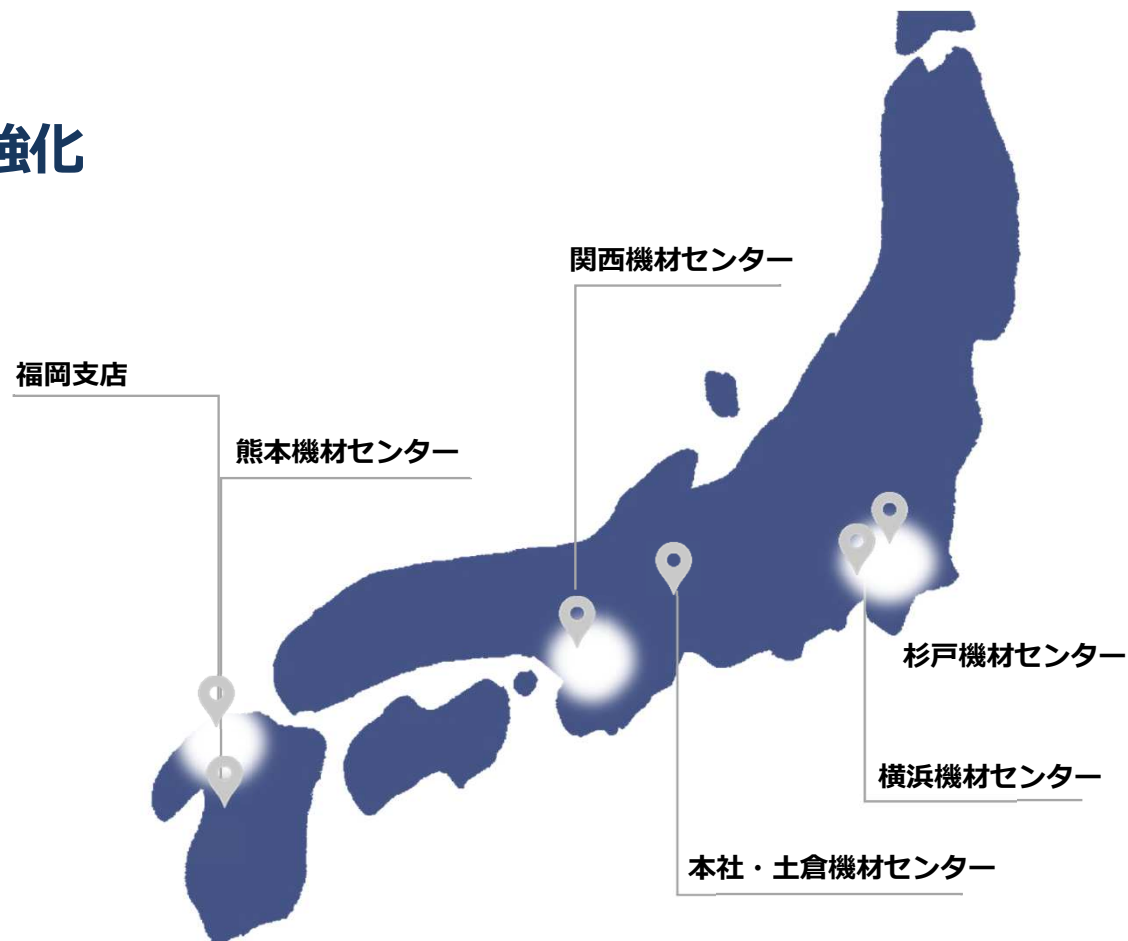
- 国内の物流拠点7か所の他、新規物流拠点の開設を計画
- 関東エリア及び関西・九州を重点展開先として、運送・倉庫関係企業との提携を深め、レンタル事業への参入を図る

EC機能の強化

- 専用ECサイトを強化を図り、製品紹介・見積依頼・受注までの全プロセスの処理をインターネット上で可能とする

顧客の拡大

- 倉庫関連事業を拡大させ、更なる顧客の創出に尽力
- アライアンス先との共創関係を深め、販路拡大も図る



躍進分野① - 概要

2026年3月期売上収益目標

5,850百万円

躍進分野

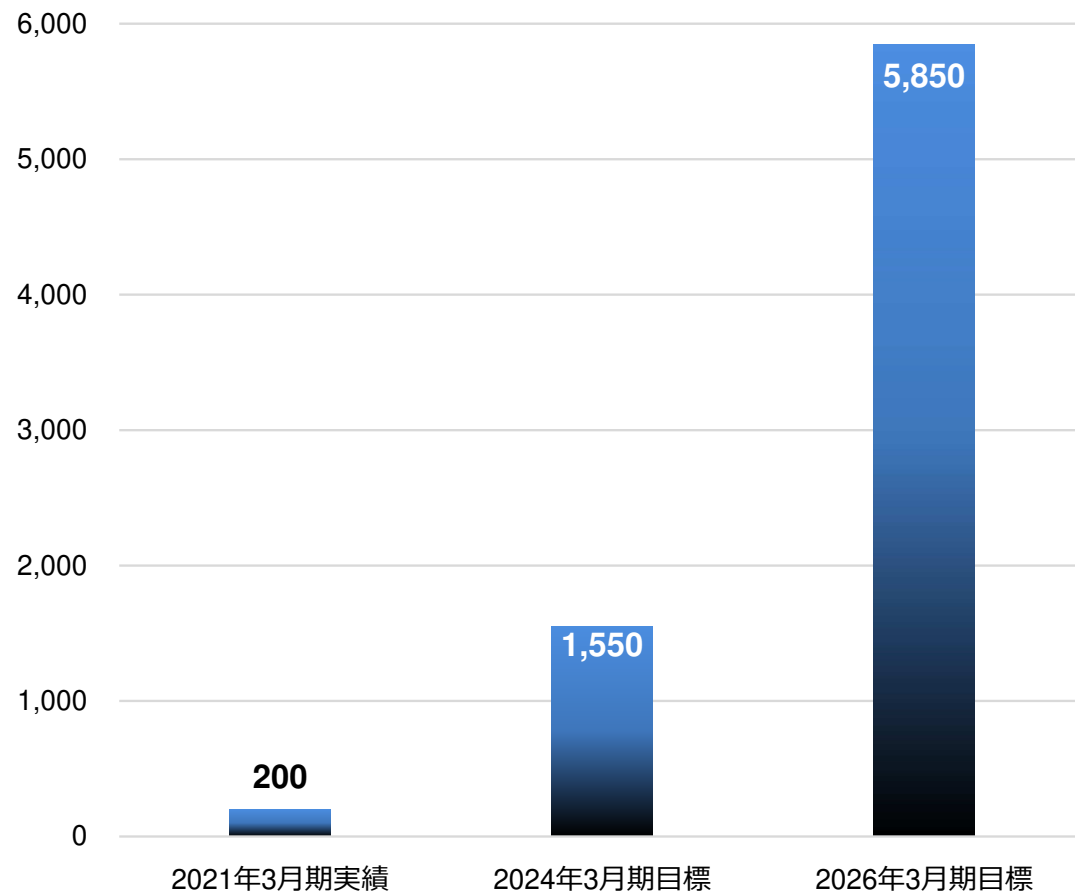
概要

既に展開している中国及びその他の海外事業及び今後当社が進出する予定の事業領域

施策

- 従来の当社が提供している低層~高層マーケットに加え、超高層・土木分野等の新しいマーケットへの進出
- 海外事業については今後、積極的に強化を図る予定
- 既存事業とのシナジーが期待できる企業のM&Aを検討

(百万円)



躍進分野② -当社が狙うマーケット

中期経営計画期間中に

合計約200億円[※]規模 の超高層足場等のマーケットに進出

※自社推定獲得可能規模



超高層足場市場においては
連層足場を既に供給開始

今後、拡大を狙う見込み

躍進分野③ -海外事業の強化

中国への進出を皮切りに、中期経営計画期間中には東南アジアを中心としたその他の海外への展開を狙う



これまでの海外進出状況

- 2017年 ベトナムに協力工場を立ち上げ
- 2019年 「広東日信創富建築新材料有限公司」を設立し、進出
- 広東日信創富建築新材料有限公司株主構成
当社：51.0% 広東創富金属製造有限公司：34.0%
アルコニックス株式会社：15.0%

- 進出地域で使用されている足場は単管足場が多く、竹、木製の足場が使用されることもあり、強度や安全性、施工性に問題がある
- 中国の建設現場では安全基準が高まっており、安全性とともに施工性に優れたシステム足場に対する需要が高まっている
- 中国のほか東南アジア諸国には、潜在的に日本以上の足場市場規模が存在しており、当社製品の拡販余地は大いに期待できる

躍進分野④ - M&Aの考え方

M&Aターゲット先を開拓し、新たな柱に

売上 130億円

売上 250億円

M&Aによる規模の拡大

ターゲットとする企業

- 仮設資材分野
- 建設資材分野
- 土木分野
- その他のニッチトップ企業

上記に限らず、その他の事業分野についても幅広く検討

M&A
ターゲット

仮設
資材

物流
機器

Synergy

新たな柱

仮設
資材

物流
機器

設備投資50億円・M&A50億円

(過去4期間の累計投資額20億円)

検討している投資強化事例

1

仮設・物流機器部門
レンタル事業の強化

2

海外事業設備投資

3

M&Aによる
新事業領域への
展開

4

ESG関連投資

| Chapter 04 |

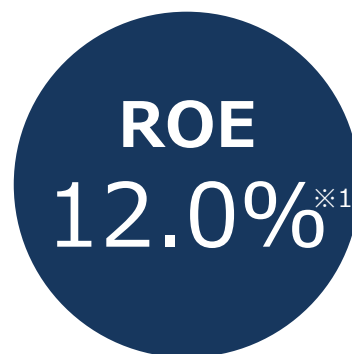
資本政策について

SHINWA CO.,LTD.

資本政策の基本方針

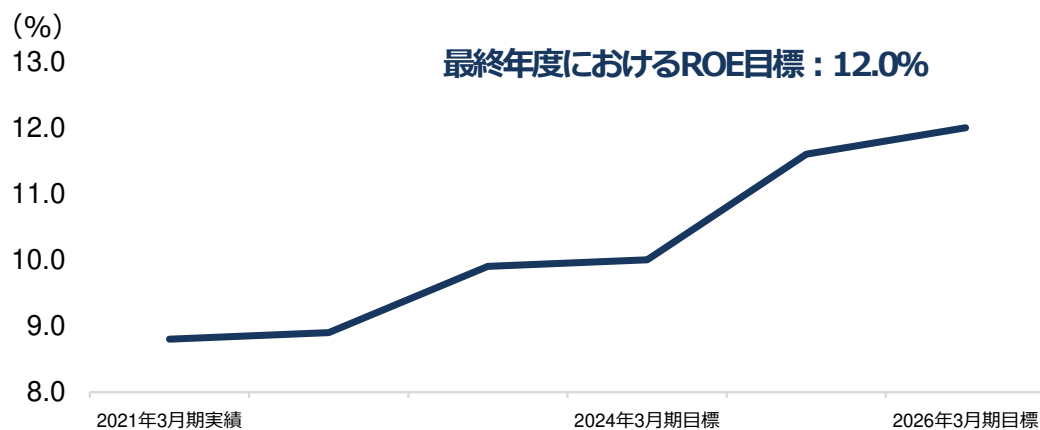
資本政策におけるKPI

中期経営計画における資本政策目標



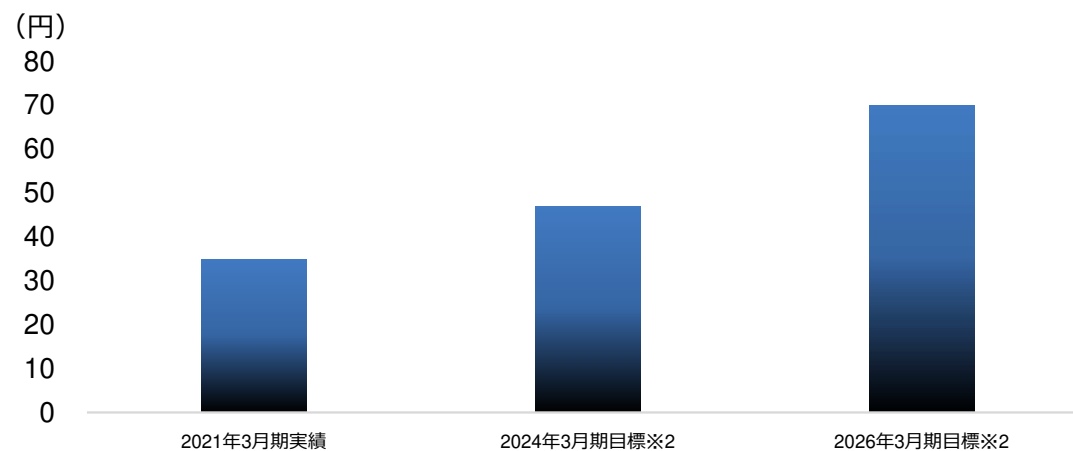
※1：自己株式の取得は資本の状況に応じて検討

中期経営計画期間中のROE目標の推移



SHINWA CO.,LTD.

中期経営計画期間中の1株あたり配当金目標



※2：毎期前年の配当金以上の水準を維持することを目指す

キャッシュの調達と配分について



| Chapter 05 |

ESGの取り組みについて

SHINWA CO.,LTD.

Environment

環境



カーボンニュートラルを目指した取り組み

- CO2排出量削減推進
- 再生可能エネルギーの調達、太陽光発電システムの導入推進
- 社有車やフォークリフト等の電動化推進

森林資源の保護・非森林資源の原料活用

- 森林資源を非森林資源素材(廃プラスチック製品等)へ置き換えを推進
- コピー用紙、カタログ等の紙資源をFSCまたはPEFC認証用紙へ切り替え

廃棄物の削減推進

- 産業廃棄物の排出量の把握・削減や製造工程の工夫による歩留まりの改善
- ペーパーレス化の推進による紙購入量の削減やリユース

Social 社会



社会課題解決を事業として推進

- 建設現場の効率化を図りつつ、街やインフラの維持・発展に寄与
- 各種産業の運搬・保管効率を高め、環境負荷軽減を念頭にした商品開発

人材の育成強化

- 人事評価制度、社内研修制度の改善強化
- 管理職研修を通じたリーダーシップ強化
- 雇用制度の見直し、シニア人材の活用

職場環境の整備

- 労働環境の安全対策活動の推進
- 社会の変化に対応した働き方の実現（IT環境整備、DX推進）
- やりがい・働きがいを育む風土醸成

ダイバーシティとインクルージョンの向上

- 人権の尊重（労働規約の適用を関係会社まで拡大）
- 外国人技能実習生の受け入れ推進
- 性別、国籍、人種を問わない活躍の場の提供

地域活性化の支援

- 地域スポーツ競技、メディアへの協賛を通じた地域社会の発展
- 子供たちの育成支援

Governance

企業統治



実効性の高いガバナンスの実践

- 多様な経歴・スキルを持つ社外役員の登用
- 取締役会の活性化、迅速かつ的確な意思決定
- 法令遵守を意識した経営の徹底

投資家との建設的な対話（IRの充実）

- アナリスト・機関投資家・個人投資家向け決算説明会・事業説明会
- 対話等を通じて得られた資本市場の声を経営層にフィードバック

株式報酬制度導入の検討

- 株主目線での経営を強化すべく、譲渡制限付株式等の株式報酬制度を検討

信和株式会社

岐阜県海津市平田町仏師川30-7

部 署 — 経営企画部

T E L — 0584-66-4436

e-mail — ir@shinwa-jp.com